

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスセンターまるべりー		
○保護者評価実施期間	令和8年1月22日	～	令和8年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年1月22日	～	令和8年1月28日 (合議日: 令和8年1月28日)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	徒歩5分以内の場所に、大型ショッピングセンター、アミューズメント施設(映画館、ボウリング場など)、市立図書館があり、社会資源の環境に恵まれている。	この社会資源を生かした映画鑑賞、ボウリング大会、お楽しみランチ、読書、モーリーファンタジーさんとの交流会など積極的に行っている。また、温室プールやつがる市総合体育館で運動している。	社会性と自分のできる力を身に付ける取り組みとして、買物体験やおつかいなどを増やして行く予定である。また、小中高ごとにTPOを少しずつ身につけられる体験をしている。
2	同一建物内に保育園と高齢者住宅があり、多世代が交流できる複合型施設である。	今年度から交流行事を増やし実施している。	令和8年度も、利用児童の状況に合わせてながら継続して交流事業を進めていく。
3	事業所内に専用キッチンがあるので、開設当初から食育活動(調理実習)を行ってきた。今年度は個々に充実した手作りおやつや食への興味関心を持てるよう家庭菜園を実施している。	バリエーションの多い食育活動を積極的に実施している。食育を通して、地産地消や食の大切さを知り、個人差はあるものの偏食の改善や食べてみようという興味が見られるなど効果が出ている。	行事のメニューやおやつメニューを子ども達が話し合って選択できるようにし、主体性と責任を持たせる食育活動を検討している。また、家庭菜園については、スケジュール管理や収穫体験は継続していく一方で、収穫後の後片付けまで行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基準以上の活動スペースはあるが、活動内容によってはスペースが少ない。また個室(静養室)もあるものの、静かに過ごせる場所にはなっていない。	体育遊びやボール遊びが多いため、スペースが取れない環境になっている。その遊びが多いことから、静養室でゆっくりと過ごせない場合もある。	施設の駐車場や近隣の公園に出掛けるなど、工夫しながら活動を行っている。事業所内のレイアウト変更(改修含む)も検討していく。
2	身体拘束禁止マニュアルや虐待防止マニュアル、非常災害関連(事故防止、緊急時対応マニュアル、感染症等)のマニュアルは整備しているが、一部の保護者に周知されていない。	新規利用時や保護者懇談会等で説明や周知を行っているが、その方法を見直す必要がある。	個別配付や閲覧ファイルを玄関内に置いて、いつでも閲覧できる環境を整えていく。
3	事業所発信の保護者向け研修会などが開催されていない。	連絡帳で日々の様子や支援、アドバイスを伝えている。また、送迎時にも同様の対応している。保護者の方々が多忙で研修の時間が作りづらい。	保護者の中には、研修会に参加して、支援のスキルを身につけたい方もいらっしゃると思うので、今後研修会を検討していく。